

7 好きなスポーツ選手

7-1 好きなスポーツ選手

好きなスポーツ選手1名の名前とその種目をたずねたところ、全体の57.3%にあたる1,058人からの回答が得られた。回答は多様で延べ278人の選手名があげられた。

全体でみると、1位は「本田圭佑」7.1%、次いで「浅田真央」6.2%、「イチロー」5.7%、「香川真司」4.2%、「坂本勇人」4.0%と続いた(表7-1)。上位10人の種目の内訳をみると、サッカーが4人、野球が2人、フィギュアスケート・水泳・テニス・バレーボールがそれぞれ1人となり、サッカーと野球で半数を占める。

性別にみると、男子は1位「イチロー」8.9%、2位「本田圭佑」7.9%、3位「香川真司」4.1%と、依然「イチロー」

の人気の高い。しかし、上位10人の種目の内訳をみると、サッカーが5人、野球が2人と、サッカー選手が人気となっている。女子は1位「浅田真央」14.3%の人气が圧倒的で、以下、2位「木村沙織」6.8%、「本田圭佑」5.9%と続く。男子では、半数以上がサッカー選手と野球選手で占められているのに対し、女子ではサッカーや野球に加えてバレーボールや卓球、体操競技などの選手もあげられており、種目に多様性がみられる。また、男子では上位10位以内に上がった10人すべてが同性のアスリートであるが、女子では同性と異性のアスリートが混在する。

【表7-1】好きなスポーツ選手(全体・性別)

全 体 (n=1,058)			男 子 (n=604)			女 子 (n=454)		
順位	選 手 名	%	順位	選 手 名	%	順位	選 手 名	%
1	本田 圭佑 (サッカー)	7.1	1	イチロー (野球)	8.9	1	浅田 真央 (フィギュアスケート)	14.3
2	浅田 真央 (フィギュアスケート)	6.2	2	本田 圭佑 (サッカー)	7.9	2	木村 沙織 (バレーボール)	6.8
3	イチロー (野球)	5.7	3	香川 真司 (サッカー)	4.1	3	本田 圭佑 (サッカー)	5.9
4	香川 真司 (サッカー)	4.2	4	リオネル・メッシ (サッカー)	3.6	4	内田 篤人 (サッカー)	5.5
5	坂本 勇人 (野球)	4.0	5	北島 康介 (水泳)	3.5	5	坂本 勇人 (野球)	4.6
6	北島 康介 (水泳)	3.6		坂本 勇人 (野球)	3.5	6	香川 真司 (サッカー)	4.2
7	錦織 圭 (テニス)	3.1		錦織 圭 (テニス)	3.5	7	北島 康介 (水泳)	3.7
8	木村 沙織 (バレーボール)	2.9	8	ネイマール (サッカー)	3.1	8	錦織 圭 (テニス)	2.6
9	内田 篤人 (サッカー)	2.4	9	長友 佑都 (サッカー)	3.0		福原 愛 (卓球)	2.6
	長友 佑都 (サッカー)	2.4	10	ウサイン・ボルト (陸上競技)	2.8	10	内村 航平 (体操競技)	2.2

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

7-2 好きなスポーツ選手の年次推移

好きなスポーツ選手の年次推移をみると、2009年、2011年調査で1位であった「イチロー」が1位から陥落し、3位となった（表7-2）。種目をみると、2009年は野球が3人、サッカーが2人であったが、2011年では野球は2人、サッカーは6人と、野球とサッカーの割合が逆転した。今回の調査でもサッカーが野球を上回る傾向は続いている。

ただし、今回の調査で1位となった「本田圭佑」は全体の7.1%であり、2009年の「イチロー」17.2%よりも10ポイント低い。2011年以降は、1名のアスリートが人気を集めるのではなく、複数のアスリートに分散する傾向を示している。

【表7-2】好きなスポーツ選手の年次推移

2009年 (n=1,480)			2011年 (n=735)			2013年 (n=1,058)		
順位	選 手 名	%	順位	選 手 名	%	順位	選 手 名	%
1	イチロー（野球）	17.2	1	イチロー（野球）	8.6	1	本田 圭佑（サッカー）	7.1
2	浅田 真央（フィギュアスケート）	9.4	2	長友 佑都（サッカー）	4.9	2	浅田 真央（フィギュアスケート）	6.2
3	北島 康介（水泳）	4.1	3	ウサイン・ボルト（陸上競技）	4.5	3	イチロー（野球）	5.7
4	中村 俊輔（サッカー）	3.9	4	坂本 勇人（野球）	3.9	4	香川 真司（サッカー）	4.2
5	クリスティアーノ・ロナウド（サッカー）	2.7	5	浅田 真央（フィギュアスケート）	3.7	5	坂本 勇人（野球）	4.0
6	福原 愛（卓球）	2.2	6	澤 穂希（サッカー）	3.5	6	北島 康介（水泳）	3.6
7	坂本 勇人（野球）	1.9	7	内田 篤人（サッカー）	3.4	7	錦織 圭（テニス）	3.1
8	石川 遼（ゴルフ）	1.8	8	リオネル・メッシ（サッカー）	3.1	8	木村 沙織（バレーボール）	2.9
9	五十嵐 圭（バスケットボール）	1.6	9	北島 康介（水泳）	2.7	9	内田 篤人（サッカー）	2.4
10	栗原 恵（バレーボール）	1.5	10	川島 永嗣（サッカー）	1.8		長友 佑都（サッカー）	2.4
	ダルビッシュ 有（野球）	1.5		長谷部 誠（サッカー）	1.8			

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

Comments

- 子どもたちがそのスポーツで食べていけるプロ種目が少ない。もっと多種多様のスポーツがプロ化し、日本を盛り上げて「スポーツ王国」にしてほしい。娘はバレエを習っていますが、海外に素晴らしいダンサーが流出し続けています。残念で仕方ありません。（13歳女子の母親）
- 中学時代は部活動・クラブ活動と所属し、有能なコーチから指導を受けていましたが、高校の部活動では指導できる先生がどの学校にも不在で、なかにはルールも知らない人が担当しているという話も聞きます。良い指導者がいれば子どもの能力は随分と伸びるはずです。（16歳男子の母親）
- まわりにサッカーや野球が出来る設備、施設が少なすぎる。総合体育館を作り、子どもたちが実業団やプロの試合を近くで観戦できる環境を作してほしい。（16歳男子の父親）

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013